

学校だより 高松小学校 学力調査 学校評価 特別号	<h1 style="color: orange;">たかひば</h1> <p>～ひばりのように高く舞い上がれ～</p>	 令和7年9月5日
--	--	---

学力調査結果から

校長 山崎 勝則

4月に行われた6年生の全国学力（国・算・理）・学習状況調査と県基礎学力調査（社・英）、4年生の県基礎学力調査（国・算）の結果が出ました。結果を分析した上で、以下のように今後の指導にいかしたいと思います。

＜結果＞

	国語	算数	社会	理科	英語
6年	県平均を 下回る	県平均を 下回る	県平均を やや下回る	県平均を やや下回る	県平均を やや下回る
4年	県平均を やや上回る	県平均と ほぼ同じ	なし	なし	なし

やや上回る：＋１％～＋５％ 上回る：＋５％以上

やや下回る：－１％～－５％ 下回る：－５％以上

6年生

国語、算数は県平均を－５％以上下回り、社会、理科、英語は－１％以上－５％未満下回る結果でした。

前学年の確認を取り入れながら、ていねいに基礎・基本の定着を図っていきます。

4年生

国語は県平均をやや上回り、算数は県平均と同程度でした。

グラフなどから読み取ったことを、用語を使って正しく表現できる力を付けていきます。

＜分析＞

○国語

「目的を意識して中心となる語や文を見つける」ことが苦手な傾向がある。

漢字の筆順が曖昧な児童がいる。語彙力に課題がある児童もいる。

○算数

「自分の考えをわかりやすく記述する力」に弱い傾向が見られる。図形の問題にも課題がある。

＜具体策＞

○国語

- ・問われていることを捉えた上で、関連した本文の叙述に線を引いたり、大事なところに印をしたり、矢印でつなぐなど書き込みながら文章を読み取ることができるようにする。
- ・既習の漢字を使って、自分の考えを書くことを意識させる。また、書いた文章を読み返して書き直すことができるようにする。
- ・これまでの学年の漢字や文の組み立てなどの基本的な内容を朝学習等で復習する。

○算数

- ・朝学習で取り組んでいる算数の記述の問題を継続し、自分の考えを記述する力を付けていく。
- ・授業では、問題を解く過程を確認してから解答する。直感的に求めるのではなく、論理的に説明できるように解答する。（どの条件が必要か整理して解くなど）

前期学校評価アンケート結果のお知らせ

1学期末に実施しました学校評価アンケートの結果をお知らせします。

(1) 児童アンケートの結果

アンケート項目		R7年前期	R6年前期
①自分や友だちを大切に	1 学校へ行くのは楽しいですか。(市共通①)	93.6	96.9
	2 自分にはよいところがあると思いますか。	80.2	87.1
	3 いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか。(市共通⑤)	94.4	98.8
②自ら考え学ぶ子供	☆ 家庭学習週間で家庭学習を計画通り実行できましたか。 NEW!	81.3	—
	4 授業で自分の考えを書いたり話したりしていますか。 NEW!	83.5	—
	5 「学びたいム」で分からないことが分かるようになりましたか。 NEW!	90.2	—
③うまくいかなくてもあきらめない子供	6 失敗を恐れず挑戦しようとしていますか。 NEW!	82.6	—
	7 「わくわくタイム」は楽しみですか。	92.0	96.9
	8 下級生や友だちの失敗も認め、思いやりを持って接していますか。	92.0	98.4
④安全・安心な学校	9 先生はほめたり励ましたりしてくれますか。	91.4	98.0
	10 授業はわかりやすいですか。	89.9	97.2
	11 教室で落ち着いて学習に取り組むことができますか。	90.6	92.4
	12 朝食を毎日食べていますか。(市共通②)	97.1	94.6
⑤地域の連携	13 地域の方々から学んでよかったですか。	95.5	97.9
	14 学校や地域でしっかりあいさつをしていますか。	94.1	97.7
市共通アンケート	市③ 将来の夢や目標を持っていますか。(市共通③)	84.6	88.0
	市④ 平日、メール・ネット(ライン・ゲーム、動画・Instagram、フェイスブック、ツイッターを含む)をしている時間はどのくらいですか。※但し、学習に関係する視聴は除く。(市共通④)	(2h以内) 73.7	75.5
	市⑥ 読書が好きですか。(市共通⑥)	73.7	84.4

※ 青 A+B(肯定的) 評価90%以上 赤 A+B評価 75%以下

(2) 保護者アンケートの結果

アンケート項目		R7年前期	R6年前期
1	お子様は、学校へ行くのが楽しいと言っていますか。(市共通①)	90.2	93.6
2	お子様に毎日朝食を食べさせていますか。(市共通②)	96.6	97.0
3	お子様は、将来の夢や目標を持っていますか。(市共通③)	76.3	80.0
4	学校のホームページを見たことがありますか。	83.4	67.5
5	学校の先生は話しやすいですか。	90.0	95.9
6	お子様は、1日(平日)に平均してどのくらい、メール・ネット(ライン・ゲーム、動画・Instagram・フェイスブック・ツイッターなどを含む)をしていますか。※但し、学習に関係する視聴は除く。(市共通④)	(2h以内) 68.1	70.5

※ 青 A+B(肯定的) 評価90%以上 赤 A+B評価 75%以下

(3) アンケート結果からの分析と今後の方針

○全 24 項目中 13 項目が肯定的評価 90%以上でした。

▲全体的に令和6年前期より A+B 評価の値が下がっていました。

- ・児童アンケートで1番(市①)、2番、8番、9番、10番、11番、12番(市②)、13番、市⑥の9項目は令和6年前期より A 評価の割合が増えています。A 評価が上がったが A+B 評価が下がったということは、2極化傾向がみられるということになります。関わりの中で一人一人のよさを発揮させ、児童の自信や意欲を育てていくことができるように努めたいと思います。
- ・「ゲームやメール・ネットの使用時間」については年々使用時間の増加が見られます。
(3h以上:1年生6名、2年生3名、3年生3名、4年生7名、5年生7名、6年生23名)
全く使用しない児童は別として、ルールがない児童は使用時間が長時間になる傾向があります。ルールは主に①身体への影響や安全に関すること(○分したら□分休憩、個人情報をもらさない等)と②使用時間に関すること(平日○分、休日□時間、△時まで等)と③やるべきことをやってから(宿題の後、習い事の前まで等)の大きく3種類に分けられます。自律した使用ができるようにお子さんと確認してはいかがでしょうか。学年によりルールに大きな差が見られません。ルールが身に付くまでは保護者がしっかりと見守ることが大切だと思います。一旦ルールが身に付けば、そのルールを守って使用できるようになるようです。